

よ読んでみよう 解いてみよう  
**さん太のワークシート**

てい がく ねん  
**低学年も  
 チャレンジ!**

**Q1**

新型ゲートは歩行者らが自分で開けて通行します。多くの人に使用方を伝えるための説明書を書いてみよう。

遮断機や警報機のない踏切での事故を防ぐと、JR西日本が玉野市内に新型の手動ゲートを設置しました。記事を読み質問に答えましょう。

**Q2**

踏切の場所には案内看板とバーが取り付けられました。バーの長さは約何メートルですか。記事から探して、次の三つから一つを選びましょう。

- ① 1メートル
- ② 2メートル
- ③ 5メートル

**Q3**

遮断機や警報機のない踏切は「第4種踏切」と呼ばれ、岡山県には2023年3月末時点で76カ所あります。広島県と比べて何カ所多いですか、それとも少ないですか。文の中からデータを探し、答えよう。

# 警報機ない踏切 事故防げ



宇野みなと線の第4種踏切に設置された新型の手動ゲート  
 =玉野市田井

遮断機や警報機のない第4種踏切での事故を防ぐため、JR西日本は20日、歩行者らが自ら開けて通行する新型の手動ゲート「Lite」を宇野みなと線の備前田井駅構内（玉野市田井）に設置した。岡山県に設置してきた従来型に比べて、低コストで早く安全対策が取れるのが特長。歩行者や自転車利用者の一時停止と左右確認を促す。バーを上にかして進入し、上か前に開けて退出すると自動で閉じる。備前田井駅の庄之上踏切では社員6人が作業。支柱を立て、「左右確認」「踏切内から速やかに出てください」などと書かれた案内看板と長さ約2メートルのバーを取り付けた。第4種踏切を巡っては、18年に福山市の福塩線で自転車で横断しようとした女児がはねられ亡くなるなど危険性が指摘されている。JR西は将来的に廃止するか、遮断機や警報機を整備していく方針だが「地元との協議も必要のため、当面の対策として安全に通行できる環境整備に努めた」（中国統括本部）という。広島県内には第4種踏切が87カ所あり、3月末までに4カ所、25年3月末までにさらに約10カ所で新型を整備する計画だ。（水嶋佑香）

## 玉野・備前田井駅 新型手動ゲート設置

2024年2月21日付、社会面

過去の問題は  
 こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由でダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。